

臨床試験データ管理システム DEMAND R5.0

—SAS9のみで行う臨床試験データ管理—

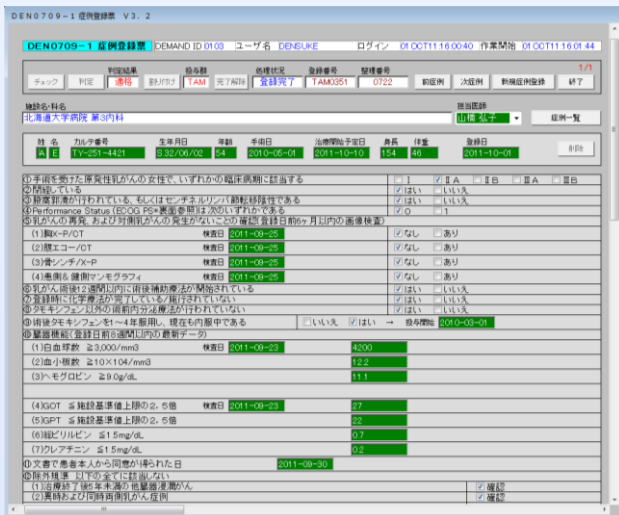
症例登録



登録施設選択



通常の症例登録画面



カスタマイズした症例登録・割付画面の例



インターネットを利用した症例登録・割付画面の例

〔東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野
教授 山口拓洋 先生 監修〕

症例の基本的な情報を登録し、データ入力の基本となる症例数を管理するモジュールです

臨床試験データ管理システム「DEMAND」-症例登録モジュール

「DEMAND 症例登録」は「DEMAND」の基本モジュールの一つで、症例のIDや年齢、性別、担当医師等、症例の基本的な情報を登録し、「データ管理」モジュールにおけるデータ入力の基本となる症例数を管理する機能を提供します。

機能概要

「DEMAND」では、データ入力時に症例の追加や削除を行うことはできません。症例の追加や削除を行うためにはこの「症例登録」モジュールを使用します。

症例が臨床試験にエントリされた時点で登録し、その症例の基本的な情報を入力します。主な入力項目は以下のとおりです。(なお、これらは必ずしも入力必須項目ではありません。)

- ・症例識別番号
- ・年齢
- ・生年月日
- ・性別
- ・責任医師
- ・担当医師

症例登録の状況は「登録中」、「登録完了」、「DB移行済」、「削除」の4段階で管理され、「登録完了」に設定した症例のみがデータベースに移行し、データ入力が可能になります。

データベースに移行すると自動的に「DB移行済」となり、以後の「症例登録」モジュールでのデータの変更はできなくなります。これにより、同じ症例のデータベースへの2重登録を防ぐことができます。

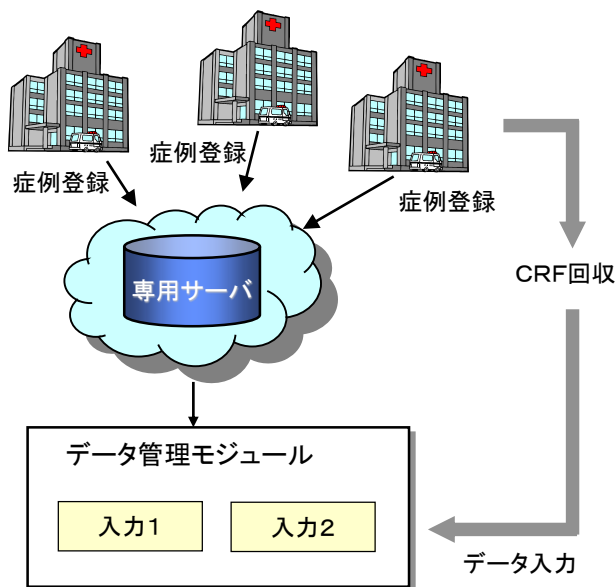
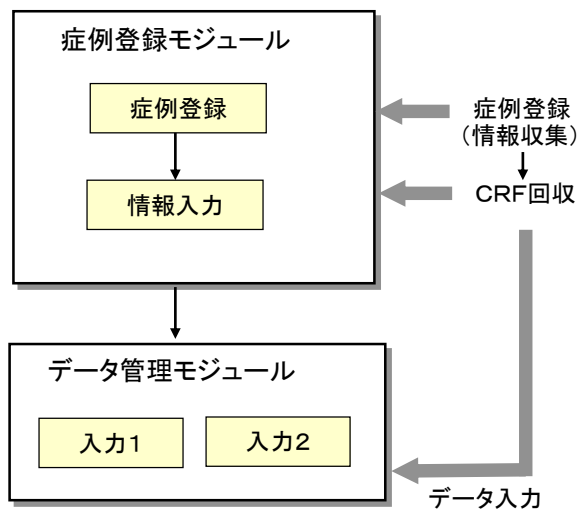
症例を誤って登録してしまった場合には、「削除」に設定することにより、症例のデータベースへの不正登録を防ぐことができます。

なお、このモジュールでは「症例の適格／不適格の判定」や「割り付け」等を行うことはできません。このような機能が必要な場合には、別途、SAS/AFにより、DEMANDで定められている規則にしたがってシステムを作成すれば、カスタム症例登録モジュールとして、DEMANDに組み込んで使用することができるようになっています。

さらに、インターネットを利用したオンラインでの症例登録が可能なオプション機能もご用意しています。このオプションを使用すると、医療機関で直接症例登録や割り付けを行うことができ、それをDEMANDをはじめとする様々なデータベースに取り込むことができます。

(インターネットを利用した症例登録・割付システムにつきましては、東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野教授 山口拓洋先生に監修を頂いています。)

症例登録モジュールによる 症例の登録からデータ入力までの流れ



動作環境および価格はDEMANDのパフレット(概要版)をご覧ください、以下までお問い合わせください

お問い合わせ先: 〒104-0033
東京都中央区新川2-6-4 新川エフ2ビル4階
ジーリンクシステムコンサルティング株式会社
www.g-link.co.jp

TEL 03-6262-8980
FAX 03-6262-8982